

地域農業の担い手として、人・農地プランの話し合いを通じて企業参入を支援し、 地域内農地の集積率を向上(長崎県松浦市御厨地区(馬込川流域地区))

企業
参入

機構
の活用

地域の概要

御厨地区の馬込川流域地区は、耕地面積10.66ha、農家数27戸、農家の平均年齢68歳と高齢化が進展し、地域の将来像を描く上で新たな担い手の参入が求められていた地域。また、小規模農家が多く耕作放棄地の発生が懸念される地域である。平地農業地域。

取組の成果

- 担い手への集積率:[取組前]65.4%(6.9ha)⇒[取組後]88.1%(9.3ha)
- 中心的経営体として新たに参入企業を位置づけ(アスパラ3.3ha、ブロッコリー2ha)

取組のポイント

企業誘致に向けた話し合い活動を展開

企業の参入に当たり、地域のリーダーが中心となり話し合い活動を展開し、企業参入に難色を示す農業者には徹底的な話し合いと戸別訪問により説得。参入企業と地域の担い手の双方の要望を踏まえ人・農地プランを見直し。

参入企業への農地集積と認定農業者への代替地確保により農地問題を調整

松浦市は、参入企業に対し基盤整備済みの優良農地を集積するため、人・農地プラン及び農地・水・環境活動による話し合いを通じ、地区内ですでに農地を集積していた担い手(認定農業者)に対し、代替地を確保することで了承を取り付け双方の農地の問題を解決。

農地提供者、既存の担い手への市の支援

地域の担い手が従前と同様の経営面積を維持するため、代替地の確保に当たっては、農地中間管理事業を活用し農地を集積。代替地の提供者には、提供面積に応じた市単独の助成金(1.5万円×10年/10aあたり)を10年分一括前払いで交付。

長崎県松浦市



<人・農地プラン基礎データ>
作成予定地域数:7
作成済地域数:7
27年度見直し地域数:7



地域での話し合いの様子



参入企業と松浦市の協定締結式